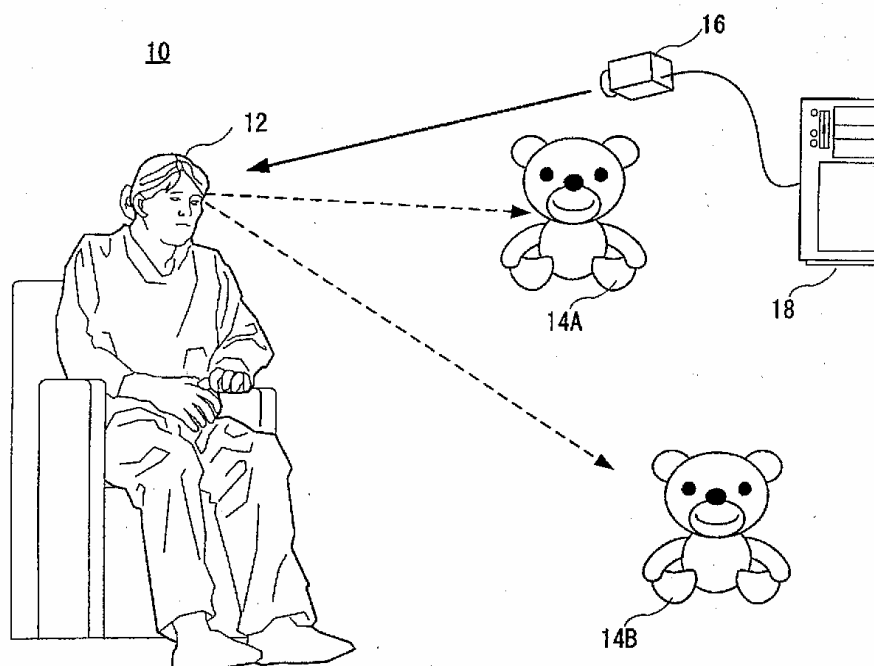


技術の名称 コミュニケーションの誘発(引き出し)

適用分野 コミュニケーションの誘発(引き出し)、認知症患者の治療

- 目的 認知症患者の機能回復を図るためにコミュニケーションを誘発する(引き出す)。
- 効果 本発明によれば、ユーザ(認知症患者)と擬人的媒体(ぬいぐるみ)とのコミュニケーションを引き出す(誘発する)ことができるので、認知症患者の治療を効果的に効率よく行うことができる。
- 技術概要 ユーザ(認知症患者)12の視野範囲に擬人的媒体(ぬいぐるみ)14を置いておき、ユーザ12の視線を検出する装置16、18でユーザ12の視線がぬいぐるみ14Bに向いたことを検出したらその視線が向いたぬいぐるみ14Bを動かすなどの動作を行って、ユーザ12とぬいぐるみ14Bとのコミュニケーションを引き出す(誘発する)。

■ 特記事項,図など



- 主たる提供特許 特許等の名称 : コミュニケーション誘発システム
 登録番号 :
 出願番号 : 特願2006-300403 出願日 : 平成18年11月6日
 公開番号 :

- 実施実績 ○有、無
- 提供形態 ○実施許諾、×権利譲渡

お問合せ先 株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
 〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2
 TEL 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp